

# みずほマーケット・トピック (2018年1月26日)

## 週末版

内容 1. 為替相場の動向 2. 来週の注目材料  
誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向 (関連レポート: 「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)
- 今週のドル/円相場は軟調に推移した。週初 22 日に 110 円台後半でオープンしたドル/円は、米上院における暫定予算案可決に対する期待を背景に 111 円を上抜けた。さらに米上院のシューマー民主党院内総務が米政府閉鎖は解消で合意と発言したことからドル買いが強まり、一時週高値となる 111.22 円をつけた。しかしこの暫定予算案は 2 月 8 日が期限となり、今後も移民問題などで与野党が合意できず再び暫定予算が失効する可能性が懸念されたことから、上値を追う動きは限られ 110 円台後半まで反落した。23 日は日銀金融政策決定会合後の記者会見で黒田総裁が「出口を検討する段階には至っていない」とハト派な発言をしたことを受けて、再度 111 円台前半まで上昇。しかしながら、米国が太陽電池パネルと洗濯機にセーフガード(緊急輸入制限)発動との報を受け、通商摩擦への懸念が強まるとドル売り優勢地合いになり 110 円台前半まで急落した。24 日も保護主義的な通商政策に対する警戒感が強まったことを背景に続落。ダボス会議でのムニッソン米財務長官のドル安容認発言やロス米商務長官の通商関係悪化を懸念する発言を受けて 109 円近辺まで下落した。25 日も前日の流れを引き継ぎ一時週安値となる 108.50 円をつけたが、トランプ米大統領がドル高容認発言をすると一転し 109 円台後半まで買い戻された。本日のドル/円は 109 円台前半で推移している。
  - 今週のユーロ/ドル相場は ECB 政策理事会を挟んで上下に激しい値動きとなった。週初 22 日に 1.22 台半ばでオープンしたユーロ/ドルは一時週安値となる 1.2214 をつけたが、メルケル独首相率いる第 1 党キリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)と第 2 党社会民主党(SPD)が正式に連立交渉することが決まり、独政局不透明感が後退したことから 1.22 台後半まで値を上げた。23 日は通商摩擦に対する懸念の強まりからドル売りが優勢となる中で 1.23 を上抜ける場面がみられた。24 日はドラギ ECB 総裁が「資産買い入れのユーロに与える影響について為替の変動は単に副作用である」との見解を示すと、ECB は足許のユーロ上昇を危惧していないと解釈され 1.24 台前半まで続伸。25 日はドラギ総裁が理事会後の記者会見で、最近のユーロ高にさほど強い警戒感を示さなかったことからユーロ買いドル売りが勢いづき一時週高値となる 1.2538 をつけた。だが、その後はトランプ大統領の発言を受けてドル買い戻しが強まり 1.23 台後半まで急反落し、本日のユーロ/ドルは 1.24 台前半で推移している。

今週のおもな金融市場動向 (出所: ブルームバーグ、みずほ銀行)

|              |           | 前週末       | 今 週       |           |           |           |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|              |           | 1/19(Fri) | 1/22(Mon) | 1/23(Tue) | 1/24(Wed) | 1/25(Thu) |
| ドル/円         | 東京9:00    | 111.04    | 110.70    | 110.98    | 110.13    | 109.32    |
|              | High      | 111.13    | 111.22    | 111.18    | 110.33    | 109.70    |
|              | Low       | 110.49    | 110.51    | 110.25    | 108.97    | 108.50    |
|              | NY 17:00  | 110.84    | 110.92    | 110.30    | 109.22    | 109.45    |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00    | 1.2235    | 1.2256    | 1.2257    | 1.2308    | 1.2393    |
|              | High      | 1.2295    | 1.2275    | 1.2306    | 1.2415    | 1.2538    |
|              | Low       | 1.2215    | 1.2214    | 1.2223    | 1.2285    | 1.2364    |
|              | NY 17:00  | 1.2224    | 1.2263    | 1.2299    | 1.2409    | 1.2397    |
| ユーロ/円        | 東京9:00    | 135.84    | 135.67    | 136.02    | 135.56    | 135.49    |
|              | High      | 136.04    | 136.13    | 136.21    | 135.64    | 136.30    |
|              | Low       | 135.20    | 135.36    | 135.21    | 134.92    | 135.05    |
|              | NY 17:00  | 135.51    | 136.94    | 135.62    | 135.52    | 135.67    |
| 日経平均株価       | 23,808.06 | -         | 24,124.15 | 23,940.78 | 23,669.49 |           |
| TOPIX        | 1,889.74  | -         | 1,911.07  | 1,901.23  | 1,884.56  |           |
| NYダウ工業株30種平均 | 26,071.72 | -         | 26,210.81 | 26,252.12 | 26,392.79 |           |
| NASDAQ       | 7,336.38  | -         | 7,460.29  | 7,415.06  | 7,411.16  |           |
| 日本10年債       | 0.09%     | -         | 0.08%     | 0.08%     | 0.09%     |           |
| 米国10年債       | 2.66%     | -         | 2.61%     | 2.65%     | 2.62%     |           |
| 原油価格(WTI)    | 63.31     | -         | 64.47     | 65.61     | 65.51     |           |
| 金(NY)        | 1,331.85  | -         | 1,341.18  | 1,358.47  | 1,348.01  |           |

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- ・来週は、30～31日にかけてFOMCが予定されているが現状維持が見込まれる。12月のFOMCではFF金利誘導目標を1.25～1.50%に引き上げ、2018年の利上げについては9月時点と同様3回との想定を維持した。次回利上げに関しては、市場は既に高い確率で3月会合を織り込んでいる。今回はイエレンFRB議長が指揮する最後の会合であり、経済見通しの公表や議長の記者会見も予定されていない。景気もFOMCの見通し通りに推移する中、声明文もほとんど変更されない公算が大きく、特段サプライズはなさそうだ。
- ・米経済指標では、31日(水)に1月ADP雇用統計の発表があり、前月比+19.0万人と12月(同+25.0万人)から増加ペースが鈍化すると見込まれている。2月1日(木)には1月ISM製造業景気指数の発表があり、各地区連銀の製造業指数は12月から低下しているものが目立つ中、市場では59.0と12月の59.7から小幅に悪化すると予想されている。これらの結果を受けて2月2日(金)の雇用統計の予想が固まることになるが、今のところ1月雇用統計では、非農業部門雇用者数(NFP)が前月比+18.8万人(12月:同+14.8万人)と持ち直す見通しである。関連指標を確認すると、週次の失業保険統計では、雇用統計調査週(12日を含む週)の新規失業保険申請件数は改善したが、ニューヨークおよびフィラデルフィア連銀で発表された1月製造業景気指数の雇用DIは悪化している。失業率に関しては4.1%、非農業部門の週平均労働時間は34.5時間、時間当たり平均賃金(前月比)は+0.3%とそれぞれ前月から横ばいを見込む向きが多い。
- ・本邦では、31日(水)に12月鉱工業生産(速報)が発表される。12月の製造工業生産予測調査は前月比+3.4%と増産が計画されているが、実績値は予測指数から下振れる傾向がある。経済産業省による予測指数がもつ傾向的な部分を補正した試算値は同+1.8%となる中、市場では前月比+1.5%と予想されている。金融政策関連では、31日(水)に1月22～23日会合分の主な意見が公表される予定である。

|          | 本 邦                       | 海 外   |
|----------|---------------------------|---|
| 1月26日(金) |                           | ・米10～12月期GDP(1次速報)<br>・米12月耐久財受注(速報)  |
| 29日(月)   |                           |   |
| 30日(火)   | ・12月労働力調査<br>・12月家計調査     | ・ユーロ圏10～12月期GDP(速報)<br>・独1月消費者物価(速報)<br>・米1月消費者信頼感指数 ・米FOMC(～31日)                   |
| 31日(水)   | ・12月鉱工業生産(速報)<br>・12月住宅着工 | ・ユーロ圏12月失業率<br>・ユーロ圏1月消費者物価(速報)<br>・米1月ADP雇用統計 ・米10～12月期雇用コスト指数<br>・米1月シカゴ購買部協会景気指数 |
| 2月1日(木)  |                           | ・ユーロ圏1月視江増業PMI(確報)<br>・米1月ISM製造業景気指数 ・米12月建設支出                                      |
| 2日(金)    | ・1月マネタリーベース               | ・米1月雇用統計<br>・米12月製造業新規受注 ・米12月耐久財受注(確報)<br>・米1月ミシガン大学消費者マインド(確報)                    |

### 【当面の主要行事日程(2018年2月～)】

米FOMC(3月20～21日、5月1～2日、6月12～13日)

ECB政策理事会(3月8日、4月26日、6月14日)

日銀金融政策決定会合(3月8～9日、4月26～27日、6月15～16日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)

[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

経済指標カレンダー(2018年1月)

| 月                                       | 火  | 水   | 木   | 金  | 週末 |
|---|--|---|---|--|----|
| 1                                       | 2<br>ユーロ圏 製造業PMI(確報、12月)   | 3<br>米国 建設支出(11月)<br>米国 FOMC議事要旨<br>(2017年12月12~13日開催分)   | 4<br>ユーロ圏 サービス業PMI(確報、12月)  | 5<br>日本 マネタリーベース(12月)<br>日本 自動車販売台数(12月)<br>ユーロ圏 消費者物価指数(速報、12月)<br>米国 雇用統計(12月)<br>米国 失業率(12月)<br>米国 貿易収支(11月)<br>米国 耐久財受注(確報、11月)<br>米国 製造業新規受注(11月) |    |
| 8<br>日本 成人の日<br>ドイツ 製造業受注(11月)          | 9<br>日本 毎月勤労統計(11月)<br>ドイツ 鉱工業生産(11月)<br>ドイツ 貿易収支(11月)<br>ユーロ圏 失業率(11月)                          | 10<br>米国 卸売売上高(11月)   | 11<br>日本 景気動向指数(速報、11月)<br>ユーロ圏 鉱工業生産(11月)<br>米国 生産者物価(12月)<br>米国 財政収支(12月) | 12<br>日本 貸出・預金動向(12月)<br>日本 景気ウォッチャー調査(12月)<br>米国 消費者物価(12月)<br>米国 小売売上高(12月)<br>米国 企業在庫(11月)  |    |
| 15<br>日本 マネーストック(12月)<br>ユーロ圏 貿易収支(11月) | 16<br>日本 国内企業物価(12月)<br>日本 第二次産業活動指数(11月)<br>ドイツ 消費者物価(確報、12月)                                   | 17<br>ユーロ圏 消費者物価指数(確報、12月)  | 18<br>日本 鉱工業生産(確報、11月)<br>米国 住宅着工(12月)                                      | 19<br>ユーロ圏 経常収支(11月)<br>米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、1月)  |    |
| 22<br>日本 日銀金融政策決定会合(~23日)               | 23   | 24<br>日本 貿易収支(12月)<br>日本 景気動向指数(確報、11月)<br>ユーロ圏 製造業PMI(速報、1月)<br>ユーロ圏 サービス業PMI(速報、1月)<br>米国 中古住宅販売(12月) | 25<br>ドイツ IFO企業景況指数(1月)<br>ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト)<br>米国 新築住宅販売(12月)           | 26<br>日本 全国消費者物価(12月)<br>日本 東京都都区消費者物価(1月)<br>日本 企業向けサービス価格(12月)<br>米国 耐久財受注(速報、12月)   |    |
| 29                                      | 30<br>日本 失業率(12月)<br>日本 家計調査(12月)<br>ユーロ圏 GDP(1次速報、10~12月期)<br>ドイツ 消費者物価(速報、1月)<br>米国 FOMC(~31日) | 31<br>日本 鉱工業生産(速報、12月)<br>日本 新設住宅着工(12月)<br>ユーロ圏 失業率(12月)<br>ユーロ圏 消費者物価指数(速報、1月)<br>米国 雇用コスト(10~12月期)   |   |  |    |

[注]\*を付したものは公表予定が未定であることを示す。  
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2018年2月)

| 月   | 火  | 水  | 木  | 金   | 週末 |
|---|--|--|--|---|----|
|   |  |  | 1<br>ユーロ圏 製造業PMI(確報、1月)<br>米国 建設支出(12月)<br>米国 ISM製造業景気指数(1月)   | 2<br>日本 マネタリーベース(1月)<br>米国 雇用統計(1月)<br>米国 失業率(1月)<br>米国 製造業新規受注(12月)<br>米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、1月)<br>米国 耐久財受注(確報、12月) |    |
| 5<br>ユーロ圏 サービス業PMI(確報、1月)<br>米国 ISM非製造業景気指数(1月)                 | 6<br>ドイツ 製造業受注(12月)<br>米国 貿易収支(12月)  | 7<br>日本 毎月勤労統計(12月)<br>日本 景気動向指数(速報、12月)<br>ドイツ 鉱工業生産(12月)<br>米国 消費者信用残高(12月)  | 8<br>日本 国際収支(12月)<br>日本 貸出・預金動向(1月)<br>日本 景気ウォッチャー調査(1月)<br>ドイツ 貿易収支(12月)  | 9<br>日本 マネーストック(1月)<br>日本 第三次産業活動指数(12月)<br>米国 卸売売上高(12月)   |    |
| 12<br>日本 振替休日<br>米国 財政収支(1月)                                    | 13<br>日本 国内企業物価(1月)  | 14<br>日本 GDP(速報、10-12月期)<br>ドイツ GDP(速報、10-12月期)<br>ドイツ 消費者物価(確報、1月)<br>ユーロ圏 鉱工業生産(12月)<br>ユーロ圏 GDP(速報、10-12月期)<br>米国 消費者物価(1月)<br>米国 小売売上高(1月)<br>米国 企業在庫(12月) | 15<br>日本 鉱工業生産(確報、12月)<br>ユーロ圏 貿易収支(12月)<br>米国 生産者物価(1月)<br>米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(2月)<br>米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(2月)<br>米国 鉱工業生産(1月) | 16<br>米国 TICレポート(対外対内証券投資)(12月)<br>米国 住宅着工(1月)<br>米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、2月)   |    |
| 19<br>日本 貿易収支(1月)<br>ユーロ圏 経常収支(12月)                             | 20   | 21<br>ユーロ圏 製造業PMI(速報、2月)<br>ユーロ圏 サービス業PMI(速報、2月)<br>米国 中古住宅販売(1月)<br>米国 FOMC議事要旨(1月30-31日開催分)  | 22<br>ドイツ IFO企業景況指数(2月)<br>米国 景気先行指数(1月)   | 23<br>日本 全国消費者物価(1月)<br>日本 企業向けサービス価格(1月)<br>ドイツ GDP(確報、10-12月期)<br>ユーロ圏 消費者物価指数(確報、1月)                             |    |
| 26<br>日本 景気動向指数(確報、12月)<br>米国 シカゴ購買部協会景気指数(1月)<br>米国 新築住宅販売(1月) | 27<br>ドイツ 消費者物価(速報、2月)<br>米国 耐久財受注(速報、1月)<br>米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(12月)<br>米国 消費者信頼感指数(2月) | 28<br>日本 鉱工業生産(速報、1月)<br>日本 新設住宅着工(1月)<br>ユーロ圏 消費者物価指数(速報、2月)<br>米国 GDP(2次速報、10-12月期)<br>米国 PCEコアデフレーター(2次速報、10-12月期)  |  |   |    |

[注]\*を付したものは公表予定が未定であることを示す。  
[資料]ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です  
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html)

| 発行年月日       | 過去6か月のタイトル  |
|-------------|---|
| 2018年1月24日  | 日銀金融政策決定会合を受けて～消化試合の様相～                           |
| 2018年1月23日  | IMF世界経済見通し修正を受けて～米国一本足打法～                         |
| 2018年1月22日  | トランプ誕生1年を振り返る～「カーブフラット化と株価急騰」～                    |
| 2018年1月19日  | 週末版   |
| 2018年1月18日  | ECB政策理事会プレビュー～タカ派傾斜は心配無用～                         |
| 2018年1月17日  | 日銀金融政策決定会合プレビュー～最後の展望レポート～                        |
| 2018年1月16日  | 低下する米家計貯蓄率をどう読むべきか？                               |
| 2018年1月15日  | 4か月ぶり安値をつけたドル/円相場と需給環境について                        |
| 2018年1月12日  | 週末版(ダウンサイドリスクが広がるユーロ相場～議事要旨の強気を受けて…～)             |
| 2018年1月11日  | 中国の米国債購入減速・停止報道の読み方                               |
| 2018年1月10日  | ステルステーパリングの「お目こぼし」はここまでか？                         |
| 2018年1月9日   | 米12月雇用統計～改善が極まりつつある米経済指標～                         |
| 2018年1月5日   | 週末版(外貨準備構成通貨の現状(2017年9月末時点)～ユーロ比率は明確に反転～)         |
| 2018年1月4日   | 2018年の勘所～概観、注目イベント、キーワード～                         |
| 2017年12月27日 | ドル調達コストの急騰について                                    |
| 2017年12月26日 | ユーロ圏の与信・物価環境に見る域内格差                               |
| 2017年12月25日 | 日本人の「現金好き」と円相場の関係について                             |
| 2017年12月22日 | 週末版   |
| 2017年12月21日 | バフェット指標に見る過熱感～株価vs. 経済成長～                         |
| 2017年12月20日 | 3度目のカシュカリ・エッセイを受けて                                |
| 2017年12月18日 | メインシナリオへのリスク点検～米減税はドル買いとならず～                      |
| 2017年12月15日 | 週末版(ECB政策理事会を終えて～早くも問われるAPP再延長問題～)                |
| 2017年12月14日 | FOMCを受けて～パウエル議長を待つ「レールの終点」～                       |
| 2017年12月13日 | 今一度、再確認したい円の割安感                                   |
| 2017年12月11日 | 米金利の逆イールドはいつ発生しそうか？～遅くとも19年～                      |
| 2017年12月8日  | 週末版(円相場の基礎的需給環境～「ねじれ」構造は健在～)                      |
| 2017年12月7日  | 株高の真因を考える～「付加価値の取り分」という視点～                        |
| 2017年12月6日  | 6つの要人発言で振り返る2017年                                 |
| 2017年12月5日  | テーパリングが改めて示唆するベスマネーの無意味さ                          |
| 2017年12月4日  | 米税制改革の為替相場への影響について                                |
| 2017年12月1日  | 週末版(「働き方改革」で給料は減るのか～残業代カットの影響について～)               |
| 2017年11月27日 | メインシナリオへのリスク点検～中立金利の行方～                           |
| 2017年11月24日 | 週末版(欧米中銀の会合議事要旨について～FRBは自信喪失、ECBは内部分裂～)           |
| 2017年11月22日 | リバーサル・レート発言から考える「次の一手」や為替への含意                     |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年10月分)                      |
| 2017年11月21日 | 欧州政局の流動化とユーロ圏経済・金融への影響                            |
| 2017年11月20日 | やはり「選挙の年」だった欧州の2017年                              |
| 2017年11月17日 | 週末版   |
| 2017年11月15日 | 本邦7～9月期GDPを受けて～「デフレ脱却宣言」も視野？～                     |
| 2017年11月14日 | 一足早い「2017年の為替相場」振り返り                              |
| 2017年11月13日 | 利上げでも買えないボンドの苦境～BOE利上げの読み方～                       |
| 2017年11月10日 | 週末版(円相場の基礎的需給環境～気がかりな需給と実勢相場の「ねじれ」～)              |
| 2017年11月8日  | 「常識的な論点」から見直したい相場の現状                              |
| 2017年11月7日  | 「薄氷の上昇」と懸念すべきドル/円相場の現状                            |
| 2017年11月6日  | パウエル理事の議長指名を受けて～意識すべき論点～                          |
| 2017年11月2日  | 週末版(FOMCを終えて～「危ない橋」を渡り続けるFRB～)                    |
| 2017年11月1日  | 日銀金融政策決定会合を受けて～最もビョウな片岡委員～                        |
| 2017年10月31日 | メインシナリオへのリスク点検～日米FTAと欧州政治～                        |
| 2017年10月30日 | ECB政策理事会を終えて～「弱気な強気」の正常化～                         |
| 2017年10月27日 | 週末版   |
| 2017年10月24日 | 「円安なき日本株上昇」の実態と危うさ                                |
| 2017年10月23日 | 衆院解散総選挙を受けて～増税可否、日銀人事、政策への影響～                     |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年9月分)                       |
| 2017年10月20日 | 週末版   |
| 2017年10月19日 | 為替政策報告書と日米経済対話～忍び寄る日米FTA～                         |
| 2017年10月18日 | ECB政策理事会プレビュー～「腫れ物」を触るかのような正常化～                   |
| 2017年10月17日 | 「優等生の右傾化」が示唆する欧州のリスク                              |
| 2017年10月16日 | G20財務相・中央銀行総裁会議～最後のショイブレ節～                        |
| 2017年10月13日 | 週末版(内部留保課税を巡る論点整理～何が正しくて、間違っているのか～)               |
| 2017年10月12日 | FOMC議事要旨～危うい法廷弁護士のごとき政策運営～                        |
| 2017年10月11日 | 円相場の基礎的需給環境～円高地合い続く～                              |
| 2017年10月10日 | 米9月雇用統計を受けて～過信は禁物～                                |
| 2017年10月6日  | 週末版(ECB政策理事会議事要旨(9月7日開催分)～APPIは「小さく減らして長く延長」が有力～) |
| 2017年10月5日  | 正規雇用の賃金は本当に上がるのか？                                 |
| 2017年10月4日  | 好調過ぎる日銀短観に見る危うさ                                   |
| 2017年10月3日  | 「賃金と雇用の断絶」に関するIMF分析について                           |
| 2017年10月2日  | カタルーニャ混乱と反EU機運の関係性について                            |
| 2017年9月29日  | 週末版   |
| 2017年9月27日  | 次期ECB総裁人事に関する現状整理                                 |
| 2017年9月26日  | メインシナリオへのリスク点検～本邦政局リスクは後退～                        |
| 2017年9月25日  | 日銀金融政策決定会合を終えて～「寝た子を起こす」反対票～                      |
| 2017年9月22日  | 週末版   |
| 2017年9月21日  | FOMCを終えて～短期は強気、長期は弱気金利見通し～                        |
|             | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年8月分)                       |
| 2017年9月20日  | 衆議院解散・総選挙の為替、日銀総裁人事への影響などについて                     |
| 2017年9月15日  | 週末版   |
| 2017年9月14日  | 日銀金融政策決定会合プレビュー～総括的「再」検証も視野に～                     |
| 2017年9月13日  | ユーロ圏金融状況指数(MCI)に見るユーロ高の影響などについて                   |
| 2017年9月12日  | クーレ理事発言の真意～ユーロ高はもう看過できない～                         |
| 2017年9月11日  | 円相場の基礎的需給環境～ドルインデックス半値押しで思うこと～                    |
| 2017年9月8日   | 週末版(ECB政策理事会を終えて～解せないユーロ買い～)                      |
| 2017年9月7日   | タカ派の劣勢が強まるFOMC～フィッシャー辞任を受けて～                      |
| 2017年9月6日   | 追い込まれる日銀～倒錯した政策運営の現状・展望～                          |
| 2017年9月5日   | ECB政策理事会プレビュー～テーパリングまで至るのか？～                      |
| 2017年9月4日   | ユーロ買いに対する現状認識について                                 |
| 2017年9月1日   | 週末版   |
| 2017年8月30日  | メインシナリオへのリスク点検～急浮上してきた地政学リスク～                     |
| 2017年8月29日  | 北朝鮮ミサイル発射と円急騰を受けて                                 |
| 2017年8月28日  | ジャクソンホール講演～イエレン・ドラギ講演のレビュー～                       |
| 2017年8月25日  | 週末版   |
| 2017年8月23日  | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年7月分)                       |